

学園だより

発行 学校法人
 ノートルダム清心学園
 清心中学校
 清心女子高等学校
 倉敷市二子1200
 ☎701-0195
 TEL(086)462-1661
 FAX(086)463-0223
 URL <http://www.nd-seishin.ac.jp>

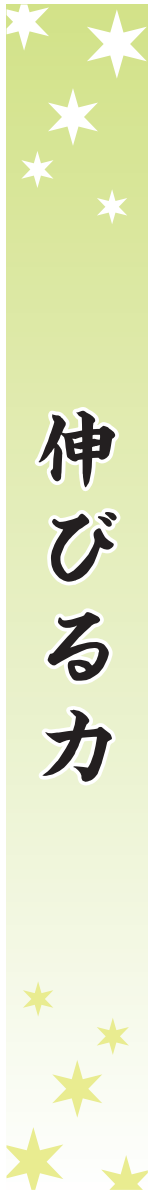
編集 広報部



新入生代表挨拶

今年度、改訂を重ねてきた高等学校の学習指導要領が全面的に実施されることになりました。新しい学習指導要領は、「生きる力」を育むという理念のもと、知識や

春の花々が一斉に咲きそろう、穏やかな陽光の中でひとときを輝いて見えます。今年は、季節がいつまでも定まらず、自然の営みに変化があると感じる中で、平穏ないつもの美しさを目にするありがたさを痛感しています。保護者の皆様には、年度初めのこの時期、学校生活に慣れ始めたお子様の姿に、一安心しておられることとお察し申し上げます。



伸びる力

校長 Sr. 小谷 恭子



入学式全体の様子

技能の習得とともに思考力・判断力・表現力などの育成を重視しています。次代を担う子どもたちが、これからの社会において必要となる「生きる力」を身に付けてほしいという思いで、新しい学習指導要領を定めたと解説しています。

学校では、主として授業を通して生きる力をつけますが、子供たちは、生きる力の最も基本的で大切なことの多くは幼いころから家庭で学んでいます。社会が複雑になり、しかも高度に情報化されて、何もしなくても情報が不自由しない現在、今まで以上に、思考力、判断力が必要となります。



玉野オリエンテーション食事前の様子

一方的に押し付けられる情報を取捨選択する力は、しっかりとした思考力、正しい判断力から生まれませんが、家族とのコミュニケーションの中で関心や感動、豊かな人間性など、コミュニケーションの根底をなす力を得ることができません。子供たちが、何に関心を持ち、どのように考えているかを知り、家族団欒の中でぜひ話し合っていただきますようお願いいたします。

保護者の皆様には、今年度も大変お世話になりますが、よろしくお願ひ申し上げます。

新入生の皆さん、学校にはもう慣れましたか。今年一年間を通して生徒会が掲げているテーマは「盛り上げよう清心(精神)」です。この学校を今以上に活気ある高校にしたいと強く思っています。そして今年の文化祭のテーマを「GIVE〜それが最初のキセキ〜」にしました。GIVEであるこの時を謳歌して欲しいと言うこと、私たちがこの学校に集えたことが最初の奇跡であり、これからの軌跡になっていくという気持ちを込めました。最高の文化祭にしましょう。



高校生徒会長 平田 祐美



中学生徒会長 西井 はるか

生徒会長あいさつ

今年度を迎えて二か月が過ぎました。みなさんも新しい学校や学年に慣れて、充実した毎日を過ごしていることと思います。

私たち中学年でこそ生徒会も新たな気持ちで、地区敬老会や文化祭に向けて、企画や準備に取り組んでいます。また、あいさつ運動など、新しい活動にもチャレンジしていきたいと考えています。

二子の丘に集う私たちの学校生活が思い出多きものになるように精一杯頑張りますので、みなさんも御協力をよろしくお願ひします。

中野野ウエディング

中1学年 坂戸 宣房

4月19日から21日までの2泊3日の日程で玉野スポーツセンターで中1のオリエンテーションを実施しました。中学1年生では唯一宿泊を伴う行事で、この研修で新しい仲間作りができたことと思います。新しい環境になり、また不安いっぱいの中、お互いを励まし合いながら楽しい中学校生活を始められることを願い準備を進めてきました。幸い天候にも恵まれ、無事にすべての研修を終えることが出来たことを感謝しております。

校長先生からは、校訓である「心を清くし愛の人であれ」について詳しく学びました。生徒たちは、清心生としての自覚と誇りを持たないといけないと思ったことでしょう。

2日目のキャンドルサービスでは、最初はなかなかそろわなかったところも本番ではうまくできたとあります。そして、このキャンドルサービスで立てた「誓いの言葉」

を忘れず、これからの学校の生活を送ってくれることを願います。



キャンドルサービスの様子

ボルネオ研修

高2E 森 圭子

今回のボルネオ研修では、ボルネオだけでなくマレー半島にも行くことになりました。初めて訪れた東南アジアで、私は世界の多様性を知ることができました。

国立サバ大学の講義で教わった通り、動植物の種類が豊富で、研修中のバードウォッチングやリバークルーズ、シュノーケリングで様々な野生動物と出会いました。なかでも印象深かったのは、あまりリゾート開発されていない島でオオトカゲが自由に歩いていることです。また、人工の光が全くない夜には、満天の星空と、ホテルの群がこんなにも美しく見えることを知りました。開発と自然保護とのバランスが大切であることを実感しました。

マレーシアでは様々な民族がそれぞれ文化を持ち、暮らしています。マレー語と中国語と英語と

が混在していて、この全てが話せる人も少なくありません。講義や大学生との交流は全て英語で、英語がもっと話せたら、より良い経験ができたのではないかと、英語の重要性を身に染みて感じました。



ボルネオ・リバークルーズ

高2発展科目報告

発展科目主任 木多 希子

火曜日は5校時終了のチャイムが鳴ると高2文理コースの生徒たちがクラスを超えて自分が選んだ講座場所へと急ぎます。4月16日、今年も6・7校時、全26回の発展科目がスタートしました。

7つの講座から興味を持った1講座を選択する高2の発展科目。毎週2時間、1年を通して、教科書の内容を越えた、自己と社会とを見つめる学習をしていきます。ここで講座の内容を紹介します。

「実践ボランティア」は、ボランティア実践を通して創立者聖ジュリーの思いに触れます。「高大連携ハイレベル英語」と「女性」は姉妹校ノートルダム清心女子大学との高大連携講座で、全講座の半分程度はバスで大学へ行き、各



ボルネオ・オオトカゲ

SSHへの期待

校長補佐 山内宏之

①理数課題研究の充実と理数系コンテストでの入賞実績の向上、②科学英語における英語ディベート学習の充実、③体験型学習プログラムとしての学校設定科目「自然探究」の開発、④理科教材の開発と成果普及、⑤女子生徒の理系進路選択を支援するキャリア教育プログラムの充実、以上のようなSS日事業の成果を今年度も継続発展させていきます。新規事業としては、中学校での理科・数学課題研究の実施、ユネスコスクールとの連携事業、ビオトープの教材化、SS日卒業生との連携講座などを計画しています。

時代の変革期には多様性が求められるテーマに関わる講義を受けます。「数理科学課題研究」と「物質科学課題研究」はSSHの課題研究です。昨年度は県で科学大賞を受賞しました。「知って、役立つマネジメント」は川崎医療福祉大学との高大連携講座で、全ての授業を大学の先生が行います。「中国語I」は中国語でのコミュニケーションとアジアの社会・文化を学びます。

どの講座も、実践・発信(プレゼン)を取り入れ、十年後、二十年後にも、生徒が自ら課題を発見し解決できる力をつけることを目指しています。まずは文化祭での中間報告にご期待ください。

られ、女子教育にも期待が集まると言われています。理数系教育の刷新という教育課題をふまえ、社会で活躍する女性を育てる使命をSSHとして本校は担っています。今後の研究開発の方向性として、科学技術界を牽引する女子生徒の育成や中高一貫教育における理数教育の充実をめざしていきたくと考えています。

公開行事としては、「科学英語研究会」を6月23日に、「研究成果発表会」を10月25日に開催します。また、10月26日に「集まれ理系女子・科学研究発表交流会」を計画しています。全国からの参加者による活気あふれる発表会です。保護者の皆様も公開行事に、是非ご参加ください。

難関大学進学支援プログラム

プログラム主任 山田 直史

「自主学習の強化」を指導の柱として支援を進め、昨年度は姉妹校である広島ノートルダム清心高等学校の学習合宿にも参加しました。「見えないライバル」が何をしているか見える環境は大変刺激になったと生徒は話していました。秋からは東京大学の「金曜特別講座」の遠隔配信校に認定され、

学校にいながら東大の講義を受けられるチャンスができました。本年度からは、添削教材「Z会」の団体受講の斡旋を始めました。自ら学習機会を獲得することが自力の向上につながると思います。

聖ジュリーの目 各学年活動報告

中学1年主任 坂戸 宣房

中学1年生は、「聖ジュリーを知ろう」をテーマに活動しました。前日のホームルームで、Sr東海林より「聖ジュリー」についての話を聖堂で聞かせていただきました。

聖堂に初めて入る生徒も多く、おごそかな雰囲気のもとみんな真剣に聞いていました。

当日は、「ひまわりの花のように」をもとに、各クラス14のグループに分かれて与えられた場面をそれぞれ描き紙芝居の作成にあたりました。

午前中、チャイルド・フアンド・ジャパンの滝藤奈都子先生のお話を聞きました。フィリピンでの支援活動の様子を写真を見せてお話し下さり、活動の内容を分かりやすく説明していただきました。

午後からは、紙芝居の完成に向けてどのクラスも頑張りました。そして中講堂でお互いの作品の発表をし、一日の活動を終わりました。この活動を通して、生徒たちは聖ジュリーの精神に少しでも触れることができた一日だったと思います。

中学2年主任 松本 浩和

中2は岡山市の「ひらた旭川荘」を訪問しました。午前中は各施設

に分かれて草取りや窓ふきなどの奉仕作業、午後は旭川荘の方との交流会を行いました。



窓拭きの奉仕活動 中2ひらた旭川荘

交流会の内容は実行委員を中心に何度も話し合って考えました。準備は大変でしたが、当日は生徒の司会のもと、ゲームやダンスを施設の方も私たちと一緒に楽しみ、温かい雰囲気のなかで会を行うことができました。

この活動を通して、生徒たちの成長を感じることができました。

中学3年主任 森 茂樹

午前中は、倉敷ボランティアセンターから講師の先生に来ていただき、校内でアイマスクを使ったガイドヘルプ講座と車イス講座を受講いたしました。

午後からは、井桁 陽子さんを講師に迎え、「生まれてきてくれてありがとう」という演題でお話がありました。二人のお子様は、乳幼児のときに難病にかかり、

ずっと人工呼吸器を使用していたのですが、生徒が困って話をしやすくとアイコンタクトで意思の疎通が出来ます。二人のお子様からは、勇気を持って行動することを教えられたと、熱く語ってくださいました。

高校1年主任 橋岡源九郎

午前中は、チャイルド・フアンド・ジャパンより講師をお招きしました。活動の歴史や、支援をしている現地の様子を伺い、毎月行っている支援が確実に社会貢献につながっていることを知るよい機会となりました。午後からは、手話体験を行いました。講師の先生たちの体験談や手話の指導に生徒たちも熱心に取り組み、貴重な時間を過ごすことができました。

今日一日の行事を通して、私たちがどのような社会貢献ができるかを、考えるきっかけになったのではないかと感じています。

高校2年主任 田中 美江

高校2年生は、特別養護老人ホームや障がい者授産施設にクラス毎に訪問させていただきました。各施設では、グループに分かれ交流会や掃除、利用者の方々と一緒に作業をする機会をいただきました。その場にに応じた言動、奉仕活

動に気持ちよく取り組む姿勢など、日頃の生活が現れる一日だったのではないのでしょうか。今回の体験を通して創立者の精神に少しでも近づき、奉仕の心を深め、社会に貢献できる女性に成長してほしいと願っています。



福祉施設でボランティア体験をする高2

高校3年主任 佐藤 誠

高校3年生の午前中は、AMDAの方をお招きし、AMDA全体の活動と東日本大震災救援活動のお話を聞きました。

午後は、障害児教育に力を尽くした石井筆子の生涯を描いた、映画「筆子その愛」を鑑賞しました。午前、午後の活動を通じて、人のために尽くす大切さ、苦勞、情熱を強く感じる事が出来たと感じています。

卒業後、今回の経験を活かし、人のために行動の出来る人になってもらいたいと思っています。

中2英会話合宿

英語科 岩井 久子

2013年3月17日から2泊3日、本校クビリーホールにて希望者68名が英会話合宿を行いました。本校のネイティブ教師5名と英語科日本人教師2名の指導のもと、起床から就寝まで英語を用いて生活するとともに、中学3年生の7月に実施されるオーストラリア研修に向けた工夫いっぱい英語の活動やゲームなどを楽しみました。

英会話合宿で見せてくれた生徒たちの表情は、日頃の授業ではなかなか見られない表情で、英語に対する見方や考え方が広がり、より英語が好きになっていったようです。オーストラリア研修では、多くの人たちと積極的に英語でコミュニケーションを図り、自分の思いや考えを伝えることができることを期待しています。



マシュー先生から指示を受ける生徒

卒業生の進路状況比率一覧 (数字は%)

Table with 8 columns: 年月, 四年制大学, 短期大学, 専修学校, 進学留保, 就職, その他, 合計人数. Rows for 2013, 2012, 2011.

卒業生の進学系統別比率一覧 (四年制大学および短期大学 数字は%)

Table with 9 columns: 年月, 人文科学, 社会科学, 自然・保健, 家政, 教育, 芸術, その他, 合計人数. Rows for 2013, 2012, 2011.

*総合科学・国際関係・福祉は「社会科学」に、工・農水産・薬・理は「自然・保健」を含む

卒業生の進学地域別比率一覧 (四年制大学および短期大学 数字は%)

Table with 10 columns: 年月, 北海道東北, 関東, 中部, 近畿, 岡山県, 中国*, 四国, 九州, 合計. Rows for 2013, 2012, 2011.

*「中国」は岡山県を除いた中国地方

次いでコース別の主な合格大学を紹介... 生命科学コースは岡山大学のマッチングプログラムコース(MP)や神戸大発達科学部を...

平成二五年度大学入試は昨年同様、資格志向・地元志向が続きました。別表「系統別比率一覧」では「教育」への進学率増加です。

環境情報学部、日本女子大理学部などにも進学しています。一方文理科コースは岡山大では医学部(保健学科)・文学部・教育学部・農学部、香川大では経済学部・教育学部に合格しています。

進路指導部長 多鹿 暢彦



進路指導部より

平成25年度資金収支予算書 (H.25.4.1~26.3.31) (単位千円)

Financial statement table for FY25 with columns for income and expense items and amounts.

平成24年度資金収支決算書 (H.24.4.1~25.3.31) (単位千円)

Financial statement table for FY24 with columns for income and expense items and amounts.

平成25年度後援会委員は中学校20名、高校33名 計53名で編成されています。

後援会補導部委員 少年を守る母の会 中3A 津 崎 哲也

後援会新委員 高1A 繁 吉次 高1B 橋 加奈子 高1C 橋 毅 高1E 橋 毅

非常勤職員 片山 由恵 (理科実習補助) 塩田 幸子 (寄宿舎監補)

非常勤職員 小野 弘忠(英語) 山田 昌宏(英語)

非常勤職員 川崎 佳奈(英会話) 園田 睦(英語) 井上 千明(英語)

後援会役員 会長 高3C 井上 英彦 副会長 高3C 松永 光弘

嘱託職員 赤木 孝(広報) 萩原いつ子(英語) 中嶋多美子(英語)

後援会役員 委員の紹介

人事通報 新任 森脇 尚美(倫理宗教) 小寺 裕之(英語)

